

「肺炎を合併した重症心身障害児の検討」について

1. 研究（調査）の目的と概略

重症心身障害児数は年々増加しており、医療的ケアを受けながら在宅に移行する重症心身障害児も増加しています。重症心身障害児はしばしば体調が急激に変化します。発熱、心拍の上昇、呼吸状態の悪化などの非特異的徴候を示した場合、誤嚥性肺炎、尿路感染症発症を考えます。一方、肺炎もこのような非特異的徴候を示すことがります。腹部所見が分かりにくいいため、診断に時間を要し、重篤化することもあります。それゆえ発症予防法・治療法の確立は重要です。

2. 研究（調査）の方法

本研究では、当院で経験した肺炎発症例の栄養状態、血液検査、画像所見を解析します。また、肺炎を発症しない重症心身障害児者のデータと比較します。さらに、既報告例と比較しその病態を明らかにします。肺炎発症のリスク因子を明らかにし、重症心身障害児の肺炎発症の予防・治療法を明らかにしたいと考えています。

3. 研究（調査）の参加施設

岐阜県総合医療センター

4. 調査期間

調査期間（2018年1月～2023年10月）

5. 調査の対象となる患者様

岐阜県総合医療センターに通院歴のある重症心身障害児者です。

6. この調査への協力は任意です

本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。研究結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を保護します。

データのご使用をお断りになる場合には直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。

7. お問い合わせ先

本研究は、岐阜県総合医療センターの倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得ています。お問い合わせ先は下記です。

岐阜県総合医療センター小児療育内科 金子英雄 電話 058 - 246 - 1111